

猫いろいろ



ペットという猫を真っ先に思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか？

猫と人との関わりはとても古く、約 9500 年前のキプロス島の遺跡から人と一緒に埋葬されたネコ科動物の骨が発見されています。古代エジプトでは猫が神聖視されミイラも作られていました。我々人間ととても深い関わりがある猫に関するいろいろな本を紹介します。

.....



「猫本屋はじめました；書肆吾輩堂」 大久保京 洋泉社

猫好きが高じて、2013年2月22日（猫の日）に日本最初の猫本専門店（ネットショップ）を始めた著者。

今までの人生とは全く無縁な世界に飛び込み、お店の形態としては古本屋になるので古物商許可証をとり、起業塾に通い始めて経営を学び、これも勉強のためと古本屋組合の市会（業者のみ立入ができるセリ）の世話役を1年目から務めるなど、バイタリティ溢れる著者の猫に対する熱い想いが綴られています。



「ネコライオン」 岩合光昭／著 クレヴィス

ネコとライオンは同じネコ科の仲間。お互いの写真を見比べると、お昼寝のシーンや求愛のシーンなどではとても似通ったしぐさや表情を見せています。もちろんお食事のシーンをはじめとして、やっていることは同じでも迫力が明らかに違う写真もあります。あなたにはネコとライオン、同じ仲間に見えますか？

ネコとライオンの行動を見比べることができる写真集です。



「招き猫の文化誌」宮崎良子／著 青弓社

身近にあるけれどその由来は？と考えるとすぐには思い浮かばない“招き猫”。そもそもなぜ猫なのか？からその種類や祀り方まで、招き猫についてのさまざまな話が書かれています。



「歴史を変えた100匹の猫」 サム・ストール／著 創土社

駅長になった猫は有名ですが、猫の中にはなんと大学生になってしまったり、たった1匹である動物種を絶滅させてしまったり等、想像もつかないことをやってしまったものがあります。そんな歴史を変えた猫が多数紹介されています。



「ネコの毛並み；毛色多型と分布」 町田忍、大竹真／著 ファラオ企画

父親は白黒ぶち猫、母親はキジ三毛猫。そこから生まれた子猫の毛並みはキジ、白黒斑、黒三毛、黒、キジ斑とバラエティ豊か。同じ両親から一度に生まれた子猫が全て同じ毛並みというのは珍しいことだそうです。猫の毛並みの謎に迫ります。



「ねことわたしの防災ハンドブック」 ねこの防災を考える会／著 PARCO 出版

いざという時、大切な猫を守れるのは飼い主だけ。
日頃のそなえから避難場所での心得まで、自分だけでなく飼い猫も守るためのノウハウが書かれています。

編集・発行：さいたま市立与野図書館

さいたま市中央区下落合 5-11-11 TEL 048-853-7816
平成 29 年 6 月